

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化率が高く山坂も多いエリアです。住民の健康意識が高く、自治会町内会、ボランティア活動に熱心な住民が多いのも特徴です。しかし、高齢化が進み活発であった活動を引き継いでくれる担い手を確保するのが難しい現状です。今後は、自治会・町内会を超えた見守りネットワーク、ボランティア活動、多世代交流の機会を増やし、住民同士が支え合う仕組みを整えると共に8050問題や多問題を抱える世帯へのアプローチが今後の重要項目だと感じます。
商店が無く買い物難民の為にセブンイレブンの移動販売車が走り出していますが、コンビニの移動販売では商品数が少なく、まだまだ買い物に苦慮している方が多い地域です。地域ニーズにあった移動販売が出来ないか新たに模索中です。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・西金沢地域支え合いネットワーク、支え合い連絡会、民生委員連絡会、出張相談、サロン等、地域住民との交流の場を活用し、課題を抱えた世帯、個別ケースの吸い上げ、情報の共有を強化する
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・元気づくりST、介護予防自主グループの新規立ち上げを支援する。 ・若い世代にも介護予防に関心を持つことができるような事業を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・だれでもカレーやポッチャ大会などエリアフリーで自治会・町内会を超えた交流の場を作るとともに、関係機関や専門職との連携強化を図る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・見守りホルダーまもるくんの普及啓発の促進と、若い世代にも取り組みを普及し、地域全体での見守り体制の構築をめざす。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・ケアプラザのラウンジを利用した掲示板をつくり、地域住民が参加できる場とマッチングできる仕組みを作る。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

ケアプラザでの事業のほかに自治会、町内会へ出向いてニーズを把握して、各事業へ反映する取り組みを継続しています。また、将来を見据えた地域課題の変化についても、情報共有や連携強化を継続し、地域住民の参加や交流の場作り、地域全体での見守り体制の構築を今後も目指してまいります。

区からのコメント

出張登録や地域行事への出店などアウトリーチを強めた相談体制により、来所しづらい層や孤立世帯の把握・相談の入口拡大が進み、介護保険や個別支援につながるケースも生まれています。とくに見守りホルダー「まもるくん」の出張登録と健康測定等の併催は、参加動機づけと相談誘導の両面で効果が確認できました。
支え合い連絡会を軸に警察・学校・施設・企業等と顔の見える関係を広げ、「だれでもカレー／だれでもポッチャ」など多世代の交流機会を定着させ、交流・安心感の向上がアンケートにも表れ、横連携の意識づけが進んでいます。
認知症支援では、サポーター養成講座や認知症カフェを通して地域住民の理解促進に努め、当事者・家族が安心できる環境づくりに取り組まれました。虐待対応や権利擁護についても、関係機関と連携し丁寧かつ迅速に対応され、地域包括支援センターとしての役割を果たされています。この他、民生委員やケアマネジャーとの連携では、日頃から情報共有を重ね、同行訪問などの後方支援を実施されていました。地域のクリニック訪問などを通じ、着実に医療介護連携のネットワークも構築されています。今後も8050問題や身寄りのない方の支援を含め、地域で拾われた声をもとに区とともに課題解決へ一緒に取り組んでいければと考えています。